

科目名	インターンシップA							年度	2025
英語科目名	Internship A							学期	通年
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実技
担当教員	吉村智樹		教員の実務経験		有	実務経験の職種		マネジメント	
【科目の目的】 現場を知ることによって自らの能力の見極めや実践力の向上を計り、在学中の勉強意欲に繋げること。									
【科目の概要】 映画、テレビ、舞台、イベント等の学外での出演を通して実践的な知識や技術、仕事に対する姿勢を学ぶ。									
【到達目標】 映画・テレビ・舞台・イベント等、学外での出演を責任を持って全うし、キャリアアップにつなげる。									
【授業の注意点】 出演オーディションを受ける前に必ず、担任に申告する。インターンシップA・B・Cの選択は出演内容およびスケジュールを確認し、学科で判断する。健康に注意し、与えられたスケジュール期間を無遅刻・無欠席で全うする。出演決定後のキャンセルは認めない。詳細については、出演先の契約内容に基づく。スケジュールによって学内の公演・発表等の出演はできない場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	指示を的確に理解し、状況に応じた柔軟な対応ができる。	指示を理解し、概ね適切に対応できる。	指示理解や対応に時間がかかったり、誤解が生じることがある。	指示を十分に理解できず、対応も不適切。	指示を全く理解できず、対応もできない。				
到達目標 B	役柄を深く理解し、感情豊かに表現できる。	役柄を理解し、感情を表現できている。	役柄理解や感情表現が不十分な部分がある。	役柄を理解できておらず、感情表現も乏しい。	演技ができていない。				
到達目標 C	積極的に現場に参加し、責任感を持って役割を果たす。	指示された役割をきちんと果たし、現場に貢献している。	指示された役割を果たすまでに時間がかかったり、不十分な点がある。	指示された役割をなかなか果たせず、周囲の助けが必要となる。	指示された役割を全く果たせない。				
到達目標 D	現場での経験を深く反省し、学びを次に活かそうとする意欲が高い。	現場での経験を反省し、学びを次に活かそうとする意欲がある	現場での経験を反省しているが、具体的な目標や計画に繋がっていない。	現場での経験を十分に反省できておらず、学びを活かそうという意欲が低い。	現場での経験を反省しておらず、学びを活かそうという意欲が見られない。				

到達目標 E		遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い	
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		インターンシップA				年度	2025
英語表記		Internship A				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	インターンシップ	現場を体験して職業を知る。	1	レポート	学外の出演レポートを提出する。		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

11							
12							
13							
14							
15							

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等